

平成27年度 防災教育推進委員会主催 防災講演会
「特別支援学校における地域と連携した防災訓練への期待」

講師：石塚由江様

全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会事務局次長
防災危機管理アドバイザー

8月28日金曜日、福祉避難所開設準備訓練終了後、本校教職員、防災教育推進委員、各関係機関の皆様、地域の皆様を対象に防災講演会を開催しました。今年度も講師に石塚由江様（全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会事務局次長、防災危機管理アドバイザー、本校元PTA会長）をお迎えし「特別支援学校における地域と連携した防災訓練への期待」というテーマで約1時間の講演をしていただきました。

講演では、特別支援学校・地域・行政が一体となって訓練を継続することで、子どもたちや地域の障害のある人たちへの理解が増え、日常、そして万が一の時に支えあうことができる仕組みができることなどのお話がありました。また、特別支援学校における防災教育では、「子供たちが主体的に災害を乗り越えていくためには」「受援力を身につけさせたい」、そのためには、日頃の訓練を「わかりやすく」「たのしく」「くりかえし」をキーワードに積み重ねていくことの大切さをお話しいただきました。

その他にも、東日本大震災被災地の特別支援学校の避難所での対応例や大学等で開発されている最新防災グッズ（スマートウォッチや防災に役立つアプリなど）の紹介、各地の防災教育でICT機器の効果的活用がすすんできている事など、全国の情報提供等、すぐに参考になる具体的事例を多数お話しいただきました。本校の福祉避難所開設準備訓練につきましても、全国約1000校の特別支援学校の中でも、全国に先駆けて取り組んでいることへの注目度の高さ、全国に訓練を実施する学校が増えてきている中、本校の訓練では、教員が余裕をもって、現実をイメージしながら自信をもって取り組んでいたように感じられたとお言葉もいただき、今後の本校の訓練継続に対しての励ましもいただきました。

石塚様、お忙しい中ありがとうございました。

講演会の様子



文責：赤荻浩之